

# おまえざき



# 市議会だより

第20号  
2009.4.5.6月

平成21年8月発行

## 6月 議会定例会



撮影地：白砂公園

御前崎市議会6月定例会が6月2日から6月23日までの22日間の会期で開催されました。平成21年度一般会計補正予算などが審議され、全ての議案等が原案通り可決されました。また、教育委員に新しく増田進吾氏を任命することに同意するとともに、「基地対策予算の増額等を求める意見書」を全会一致で議決しました。議案に対する質疑に3名、一般質問には10名が登壇して市長等の見解を質しました。

### ◎人事

「教育委員の任命」  
任期満了により改選となる教育委員、増田進吾氏（朝比奈）の選任に同意した。

### ◎その他

「工事請負契約の締結」  
御前崎市CATV施設（デジタル化工事）の請負契約締結を承認した。

「専決処分の報告及びその承認」  
平成21年度御前崎市介護保険特別会計予算の補正

区分	介護保険特別会計
補正前の額	21億8,652万円
補 正 額	437万1千円
計	21億9,089万1千円

### ◎訴えの提起

給食費の支払い督促に対して1人から異議の申し立てがあつたため、简易裁判所に訴えを提起するためのもの。

区分	一般会計
補正前の額	175億300万円
補 正 額	460万円
計	175億760万円

### ◎平成21年度一般会計予算の補正

記  
1 基地交付金及び調整交付金については、今年度は固定資産税の評価替えの年度にあたるため、これまで3年ごとに増額されている経緯を十分踏まえ、平成22年度予算において増額することも、基地交付金の対象資産を拡大すること。  
2 基地周辺対策経費の所要額を確保するとともに、各事業の補助対象施設及び範囲を拡大すること。特に、特定防衛施設周辺整備調整交付金については、これまでの経緯を踏まえ平成22年度予算において増額すること。  
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

【提出先】衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・防衛大臣

平成21年6月23日

御前崎市議会

# 本会議質疑

# 委員会質疑

曾根正浩

消費者行政活性化事業について

消費者行政活性化事業として一般会計予算の補正を行っておりますが、現在商工観光課ではどのような業務を行つているのか

答 商工観光課の業務といつしましては、消費生活相談員と連携した相談業務、

問 消費者行政活性化事業は内閣府より8項目の支援メニューが提示されているが、4項目にした理由は

業務を行つてゐるが、4項目にした理由は、国支援メニューといつしましては、確かに消費生活センター機能強化事業を始めとした8項目の事業

消費生活用品安全法、家庭用品品質標準法に基づく立入検査を行つております。

今回はセンターフィルマク事業、相談員のレベルアップ事業、食品表示安全機能強化事業、消費者行政活性化事業、オリジナル事業と十分に精査した結果4項目にいたしました。



## 関連質疑

岡村勝

若杉泰彦

問 現在設置されている相談窓口に何件位の相談があつたか、内容はどうか

答 18年度が229件、19年度が243件、20年度は157件です。空き店舗や民家を利用した催眠商法等の訪問販売や通信販売、電話勧誘販売等に関する相談が多く寄せられている。

問 消費者グループについての活動内容は

答 ①御前崎中の消費者グループは、市内の会員数は

問 5月の消費者グループは、40名の会員で構成されています。

答 平成21年1月20日開催が11回、県の行事への参加が8回、市の行事参加が6回、啓発活動等が9回の合計34回程の実績があります。

問 下水道御前崎処理区の事業スケジュール（案）について

答 平成21年1月20日開催が11回、県の行事への参加が8回、市の行事参加が6回、啓発活動等が9回の合計34回程の実績があります。

問 下水道御前崎処理区の事業スケジュール（案）について

答 平成21年1月20日開催が11回、県の行事への参加が8回、市の行事参加が6回、啓発活動等が9回の合計34回程の実績があります。

問 下水道御前崎処理区の事業スケジュール（案）について

答 平成21年1月20日開催が11回、県の行事への参加が8回、市の行事参加が6回、啓發活動等が9回の合計34回程の実績あります。

がございますが、当市では消費者センター等の機能を備えて4年目になります。

今回はセンターフィルマク事業、相談員のレベルアップ事業、食品表示安全機能強化事業、消費者行政活性化事業、オリジナル事業と十分に精査した結果4項目にいたしました。

## 総務経済委員会

### 文教厚生委員会

問 下水道御前崎処理区の事業スケジュール（案）について

答 平成21年1月20日開催が11回、県の行事への参加が8回、市の行事参加が6回、啓發活動等が9回の合計34回程の実績あります。

問 下水道御前崎処理区の事業スケジュール（案）について

答 平成21年1月20日開催が11回、県の行事への参加が8回、市の行事参加が6回、啓發活動等が9回の合計34回程の実績あります。

問 下水道御前崎処理区の事業スケジュール（案）について

答 平成21年1月20日開催が11回、県の行事への参加が8回、市の行事参加が6回、啓發活動等が9回の合計34回程の実績あります。

問 次に、相談室等はあるのかと聞いています。現在、相談室という特定の場所はありません。専門の回線は引いてはあります。

がございますが、当市では消費者センター等の機能を備えて4年目になります。

今回はセンターフィルマク事業、相談員のレベルアップ事業、食品表示安全機能強化事業、消費者行政活性化事業、オリジナル事業と十分に精査した結果4項目にいたしました。

## 文教厚生委員会

### 文教厚生委員会

問 下水道御前崎処理区の事業スケジュール（案）について

答 平成21年1月20日開催が11回、県の行事への参加が8回、市の行事参加が6回、啓發活動等が9回の合計34回程の実績あります。

問 下水道御前崎処理区の事業スケジュール（案）について

答 平成21年1月20日開催が11回、県の行事への参加が8回、市の行事参加が6回、啓發活動等が9回の合計34回程の実績あります。

がございますが、当市では消費者センター等の機能を備えて4年目になります。

今回はセンターフィルマク事業、相談員のレベルアップ事業、食品表示安全機能強化事業、消費者行政活性化事業、オリジナル事業と十分に精査した結果4項目にいたしました。

## 原子力対策特別委員会

核燃料サイクルの現状について

資源エネルギー庁の鈴木広報室長より國の方針として、我が國においては使用済燃料を再処理し回収されるフルトニウム、ウラン等を有効利用することを基本的な方針とする。この基本方針を踏まえ、当面フルサーマルを着実に推進することとする、という原子力政策大綱に基づいて核燃料サイクルを巡る最近の動きについて説明がありました。

六ヶ所再処理工場

使用済燃料を再処理しフルトニウム、ウランを抽出すると共に、高レベル放射性廃液をガラス固化体にする施設であり、平成18年よりアクティブ試験（実際の使用済燃料を用いた試験）を開始し、現在は高レベル放射性廃液とガラスを混ぜガラス固化体を製造する試験を実施している。

六ヶ所MOX燃料加工事業

再処理工場において回収されるフルトニウムをMOX燃料に加工する工場で、着工は平成21年11月、竣工は平成27年6月の予定。



## 総合開発計画策定特別委員会



平成21年6月17日に開催した委員会内容について報告いたします。  
協議事項は(1)国際基準に対応した宿泊施設誘致政策について、(2)原子力発電所リプレース計画による交付金、税収への影響についてです。

(1)につきましては「国際観光ホテルの固定資産税不均一課税制度導入に伴う中間報告」を受け審議を致しました。御前崎市を訪れる観光客数は、平成4年度の488万人をピークに平成18年度は230万人まで落ち込んでいます。

御前崎観光ホテル、御前崎サンホテル、国民宿舎御前崎荘の3つの大型宿泊施設の撤退後の市の宿泊収容力は約3,000人です。浜岡地区のビジネスホテルの開業が相次ぐ中、御前崎地区においては宿泊能力が減少が観光におけるイメージダウンにつながっています。6月4日には開港した富士山静岡空港を利用した国内外の観光客をはじめとした交流人口の増加が期待されますが、地域経済に目に見える形で効果を上げるために、宿泊滞在施設の強化が必須であります。

韓国のウルチン郡やヤンピヨン郡をは

## 中間貯蔵施設

使用済燃料の中間貯蔵は使用済燃料が再処理されるまでの間の時間的な調整を行い、核燃料サイクル全体の運営に柔軟性を持たせるための施設で、現時点では青森県むつ市に着工に向けた手続きが進んでいます。

浜岡原子力発電所の状況について

- ・1、2号機は廃止措置計画認可申請に基づき現在は国の安全審査を実施中
- ・4、5号機水素濃度上昇による原子炉手動停止に係る調査状況については、触媒性能試験等により原因は低圧ターピン等でシール済として使用した液状パッキンに含まれる有機ケイ素化合物が原因と判明し、現在、両機共運転を再開しています。

原子力発電所の保安検査結果について

検査は5号機原子炉起動操作の実施状況、放射性廃棄物（気体、固体）の管理状況、また4号機の燃料取り替え作業実施状況等の検査をしたところ、いずれも違反となる事項はなかった。また過去の違反事項においても改善が図られていることを確認したとの報告がありました。

## 行財政改革特別委員会

市議会として2月定期例議会において、

行財政改革特別委員会を設置し、調査・研究をして、市に対して提言を行っています。

第1回 4月13日  
第2回 4月30日  
第3回 5月13日  
第4回 6月25日

以上4回の会合を開き、議論を重ねてきました。第1回の会議では、なぜ行財政改革を進めなければならないかという

委員会提言の主なもの

### ◎推進体制

当市の推進体制は「御前崎行政改革推進委員会」において提言を受ける等、他力本願になっている。執行部、職員の自主的な取り組みが見受けられない。推進体制や進行管理は次のようにするべきである。

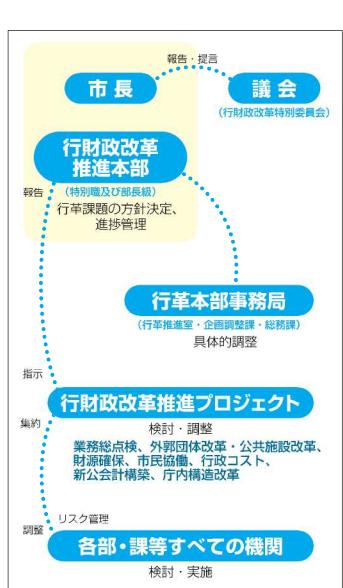
### ◎委員会提言としての議論

議論した結果、全議員の総意として市長に提言してあります。これを受け、全員協議会にて議論した結果、全議員の総意として市長に提言してあります。

## 改革のサイクルと10のキーワード



当市には進行管理がなく、次のようにすべきである。行財政改革の推進にあたっては、具体的取り組みの内容、担当部署、数値目標達成期限等を御前崎市行財政改革大綱実施計画において定め、PDCAに取り組むべきである。



委員全員の意識を確認し共有しました。

資源エネルギー庁の鈴木広報室長より國の方針として、我が國においては使用済燃料を再処理し回収されるフルトニウム、ウラン等を有効利用することを基本的な方針とする。この基本方針を踏まえ、当面フルサーマルを着実に推進することとする、という原子力政策大綱に基づいて核燃料サイクルを巡る最近の動きについて説明がありました。

資源エネルギー庁の鈴木広報室長より國の方針として、我が國においては使用済燃料を再処理され

# 一般質問

10名が登壇 市政を問つ

## 行政改革について

### 行政改革行動計画

#### (集中改革プラン)の成果について



岡村 勝

問 今後、市民に対する成績の情報公開については  
答 現在のホームページだけの公表では不足していたと思うので、今後は広報誌に掲載していく計画です。



### 行財政改革推進のための行政評価について



後藤 憲志

問 行財政改革の1つの手法としての行政評価システムへの取り組みの経過と現状、今後の評価方法の方向と進め方について

答 これまで行政評価導入に当たり、手法、システム構築について検討する中で、事務事業評価を試験的に導入し、職員に評価研修や実際にシートに書き込んでもらいたい事務事業評価を実施してきた。ところが、事務事業は予算査定の単位としては不可欠であるもの

の対象に講演会を開催し、職員

答 21年度末時点におきましては、29項目中46項目の行動計画について達成済みとなっております。主なものは、定員適正化計画策定による職員削減、給食センターの民営委託、水道料金のコンビニ納付、防災行政機構の見直し、窓口業務の

答 21年度末時点においては、29項目中46項目の行動計画を廃止致しまして、項目として必ずしも適切とは言えないものがありますので、21年度以降のプランを策定し、项目的見直しを行ってまいります。



### 行政改革推進の具体的方策について



西島 昌和

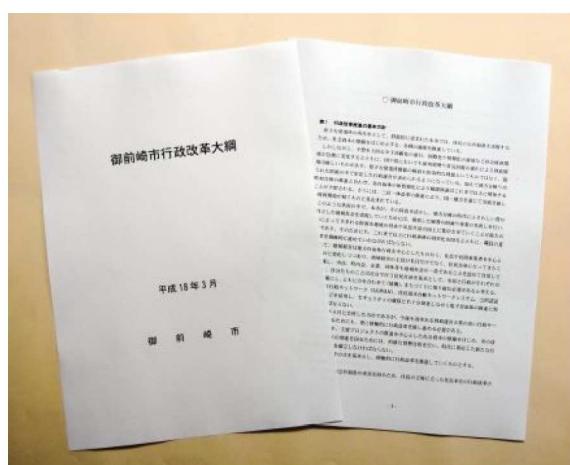
問 行政改革大綱の基本方針に沿った具体的な方策についての基本的な考え方

答 行政改革大綱では行政改革のための基本方針を示し、基本姿勢、推進体制、集中改革プランの推進を

議会提言によって指摘した「行政改革推進の基本方針」の理念を明確に示し、その理念や姿勢に基づいた具体的方策や具体的行動目標に改めるなど、抜本的行政改革を行へべてあります。

問 提言による具体的方策の所見は

答 ご提言いただいた項目・内容については、行政改革推進本部でも検討し、第3者機関でもある行政改革推進委員会にも諮りながら効果的な方法を検討してきました。



### クールアースデーについて 女性のがん対策について



岩瀬 初代

問 推進体制について  
答 市長を本部長とした行政改革推進本部の補助機関として、行政改革推進プロジェクトを設置しました。

問 管理体制について  
答 平成17年度より5ヶ年

画担当など11人で構成され、行政改革の全庁にわたる重点課題の検討、各部門との調整を行います。毎年部局より推進委員会に報告し、進捗状況のチェック・検証を行っております。

### 地球温暖化防止対策として、昨年開催された洞爺湖サミットの初日の7月7日をクールアースデーと定め「七タライトダウン」、また夏至の日を「ブラック

呼びかけています。

問 國の21年度補正予算においては、女性特有のがん検診推進事業が盛り込まれたが、内容と今後の取り組みは

答 子宮がん検診は20歳から40歳、乳がん検診は40歳から60歳で5歳間隔の節目の方にクーポン券と検診手帳の交付をし、自己負担を免除し、検診率の向上を図るといふものです。今後

答 国の21年度補正予算においては、女性特有のがん検診推進事業が盛り込まれたが、内容と今後の取り組みは

答 市役所もライトダウン施設として登録し、ケーブルTV文字放送、音声告知、

同報無線で積極的に協力を

きに検討していきます。

## 原子力防災について 交付金について



曾根正浩

会員員等の参加で行いましたが、今後住民参加が可能となりますが、次に避難施設の件ですが、県から避難体制についての助言は受けしておりませんので、とりあえず整っていると考えています。しかし耐震性の問題、老朽化している避難施設については、市の財政事情を踏まえ何らかの検討は必要と考えております。次に核燃料サイクル交付金についてですが、交付金を受けるために県が地域振興計画を策定する必要があり、配分率が確定しないとの作業に進めません。従って、まだ具体的な使用計画は定まっておりません。今後検討途は計画しているのか、交付金の使加の原子力防災訓練ですが、本年2月に町内



### ブルサームル計画、リプレース計画と住民は不安



清水澄夫

に思っているか、住民対象の原子力防災訓練は考えられないか。また原子力災害時にコンクリート屋内退避とあるが、避難施設の整備をどのように考えて

いるのか。核燃料サイクル交付金についてですが、交付金を受けるために県が地域振興計画を策定する必要があり、配分率が確定しないとの作業に進めません。従って、まだ具体的な使用計画は定まっておりません。今後検討途は計画しているのか、交付金の使加の原子力防災訓練ですが、本年2月に町内

に進めません。従って、まだ具体的な使用計画は定まっておりません。今後検討途は計画しているのか、交付金の使加の原子力防災訓練ですが、本年2月に町内



### コミニコニトライバスの見直しについて 非核平和都市宣言の決議について 原発問題について



望月ゆう子

住民の強い要望で実現したバスなのに乗車率が低い理由は大型バスで乗りにくい、乗換が大変、運賃が高いからです。今まで利便性どころか無駄な金を今後も払い続けることになるが見直す考えは

バス利用者には乗降が多い時は運行回数を調整、運賃については路線バスと同様の定期券「バーサルカードで不利益にならない様宣言を決議する考え方

に対応しています。今後は昨年度の実績を基に検証していきます。

住民の強い要望で実現したバスなのに乗車率が低い理由は大型バスで乗りにくい、乗換が大変、運

賃が高いからです。今まで利便性どころか無駄な金を今後も払い続けることになるが見直す考えは

バス利用者には乗降が多い時は運行回数を調整、運賃については路線バスと同様の定期券「バーサルカードで不利益にならない様宣言を決議する考え方

が願う事、その心があれば非核平和都市宣言をしなくてても廢絶を訴える事ができると考えております。

が願う事、その心があれば非核平和都市宣言をしなくてても廢絶を訴える事ができると考えております。



従来の蛍光灯(40W)	項目	LED照明
600~1,000円前後	価格	20,000円前後
40W	消費電力	22W (約45%OFF)
23円	電気料	12.7円 (約45%OFF)
0.53kg	CO <sub>2</sub> 排出量	0.30kg (約45%OFF)
6,000~12,000時間 (約8ヶ月~1年6ヶ月)	寿命	約40,000時間 (約4年6ヶ月)
常に瞬いており目に悪い	ちらつき	ちらつきは目に優しい
あり	紫外線	少ない

いたところ、LED照明は次々とよい商品が出ているので、5年ほど様子を見たほうがよいとのことでした。



## 新型インフルエンザ対策について 市立御前崎総合病院の中長期計画について



増田雅伸

砂地分場跡地利用について



若杉泰彦

砂地試験場跡地利用についての提言書が提出されていますが、その対応と経過報告、今後の中長期計画は

問い合わせで市の新型インフルエンザ対策本部を立ち上げ、予防広報実施や情報収集、戒レベルが引き上げられた時点で市の新型インフルエンザ対策本部を立ち上げ、予防広報実施や情報収集、戒レベルが引き上げられた

対応と今後の対策は、4月30日にWHOの警報レベルが引き上げられた

対応と今後の対策は、4月30日にWHOの警報レベルが引き上げられた

対応と今後の対策は、4月30日にWHOの警報レベルが引き上げられた

砂地試験場跡地利用についての提言書が提出されていますが、その対応と経過報告、今後の中長期計画は



若杉泰彦

砂地試験場跡地利用についての提言書が提出されていますが、その対応と経過報告、今後の中長期計画は

# 常任委員会の今後の取り組み

## 総務経済委員会

総務経済委員会は農業を取り巻く環境の厳しい現状から、将来に向かって御前崎市の農業が持続できるようになります。ために、荒廃農地対策や後継者の育成問題など時代に対応した施策展開が図られるよう御前崎市農業振興ビジョン策定に合わせて、適時提言すべく調査・研究を進めます。

6月16日の総務経済委員会において執行部より次のテーマにおいて市の現状の説明を求めました。

(1) 御前崎市農業振興ビジョン策定について  
農業は茶、水稻、露地野菜、畜産、花器、施設園芸等の様々な分野があります。今、農業を取り巻く厳しい現状から、将来の農業の持続的な発展のために現状と課題を把握して、本市の農業の目標や基本方向等を明確に示し、今後の農業振興施策を計画的に推進するために「御前崎市農業振興ビジョン」を平成21年度に策定します。

今後、関係団体等に委員として参画していただき、策定委員会が設置されます。

(2) 御前崎市荒廃農地対策拠点事業について（砂地試験場の跡地利用）

砂地圃場の跡地を荒廃農地拠点事業と位置付けて活用

(3) 荒廃農用地のアンケート調査結果について

近年、農産物価格の低迷、肥料や農薬の高騰、農業従事者の高齢化、食の安全など農業・農村を取り巻く環境は厳しくなっています。御前崎市では農のある豊かな生活環境の充実を目指し、農業振興の方向を見出すとともに、後継者不足などによる荒廃遊休農地問題の解消に向けて、市内に農地を1,000平方メートル以上所有している方に対し、御前崎市の農業や今後の農業経営について等の意向調査及び結果の整理・分析を行いました。

## 文教厚生委員会

### ● 今後1年間の調査研究テーマ

少子化が全国的な問題となっている中で、御前崎市も出生率から乳幼児、そして幼稚園・保育園では幼児教育（幼保一元化）、小中学校では学力向上（小、中一貫校教育）の教育的支援とともに、経済的支援があると思います。

このような状況の中で、将来を考えた人材育成を進める教育・子育て支援に取り組まなければならないと考え、文教厚生委員会では一年をかけて、次のように調査・研究をしていくこととした。

#### テーマ「子育て支援と教育について」

##### ・出産と乳児支援について

出産から就学前までの働く若い人たちのための支援が必要である。

##### ・幼児教育について

少子化が進む中で、幼保一元化を念頭においたきめ細

する議会提言が出されております。跡地の活用方法についての具体的な計画は決定されておりません。

今後の予定は平成21年9月頃に払い下げに係わる申請書を県に提出する予定です。契約に基づく財産の購入は平成22年度になります。砂地圃場跡地の面積は約2.8ヘクタールあり、その内3.600平方メートル、約13%が畑の地目になっています。

## 平成21年第3回臨時議会開催される

# 臨時議会

議会の動き

4月1日 小笠医師会掛川医療センター急患診療室開所式

3月 第2回臨時議会

12日 消防団入退団式

13日 行財政改革特別委員会

14日 原子力対策特別委員会

16日 議会広報特別委員会

市道106号線口港橋開通式

20日 議会全員協議会

23日 議会広報特別委員会

東海市議会議長会定期総会

28日 議会広報特別委員会

30日 行財政改革特別委員会

◎ 条例  
「専決処分の報告及びその承認」  
御前崎市税条例の一部を改正する条例について  
御前崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について  
◎ その他  
御前崎市税条例の一部を改正する条例の制定について  
御前崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」  
市議会議員・特別職・教育長の期末手当及び一般職の期末勤勉手当を0・2ヶ月引き下げるもの。  
○ その他  
「専決処分の報告及びその承認」  
御前崎市税条例の一部を改正する条例について  
御前崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

5月 7日 議会広報特別委員会

8日 総務委員会協議会視察研修会「海岸上植物研究会センター」

11日 総務経済委員会

12日 文教厚生委員会

13日 行財政改革特別委員会

14日 全国自体病院経営部「議会協議会定期総会」

16日 防災減災都市行政視察会

18日 議会全員協議会

20日 富士山静岡空港利用促進協議会

22日 議会運営委員会

26日 全国原子力発電所所在町村協議会定期総会

27日 全国市議会議長会定期総会

28日 議会運営委員会

第3回臨時議会

31日 浜岡原子力発電所安全等対策協議会理事会・総会

31日 消防団査閲大会

6月 10日 本会議（質疑・一般質問）

16日 総務経済委員会

文教厚生委員会

17日 総合開発計画策定特別委員会

原子力対策特別委員会

19日 静岡県環境安全対策協議会

22日 議会運営委員会

23日 議会全員協議会

25日 行財政改革特別委員会

29日 牧之原市御前崎市公設施設組合臨時議会

## 8月 定例会・委員会の予定

8月定例会は8月25日(火)から9月24日(木)までの31日間の会期で開催される予定です。

日程は変更になる場合がありますので、事前に市議会事務局（電話 85-1115）までお問い合わせください。

8月	25日(火) 本会議（議案説明）
	26日(水) 本会議（議案説明）
9月	8日(火) 本会議（質疑・一般質問）
	9日(水) 本会議（一般質問）
	10日(木) 総務経済委員会
	11日(金) 文教厚生委員会
	15日(火) 特別委員会
	24日(木) 本会議（質疑・討論・採決）

### 編集委員会

委員長 若杉泰彦  
副委員長 望月ゆう子  
曾根正浩  
大澤博克  
事務局 植田一